

豊里



年末の風物詩今年もきらめく

「豊里駅前冬の蛍通り点灯セレモニー&クリスマスパーティー」が12月1日、陸前豊里駅前で開かれました。点灯セレモニーでは、ヒップホップダンスやエレク トン演奏が披露され、点灯スイッチが押されると、産直が んばる館やイチョウ並木に付けられた色とりどりのLED約4万個が点灯。会場からは、一斉に歓声が上がりました。会場では、サンタクロースが子どもたちにクリスマスプレゼントを配るなど、一足早いクリスマス気分を味わいました。

姉妹都市入善町で交流深める

「第26回扇状地マラソンinにゅうぜん」(富山県入善町主催)は11月18日、富山県入善町で開かれ、姉妹都市交流事業として米山町内の小・中学生16人が参加しました。当日は天候にも恵まれ、沿道からの声援を受けながら参加者全員が完走しました。3年生小学生男子の部に参加した中津山小学校の加藤寿騎君が11分7秒で6位入賞。翌日は、入善小学校を訪問し、レクリエーションなどを通して交流と絆を深めました。



米山

迫



寒さに負けず笑顔でジャンプ

「第28回佐沼地区親子なわとび大会」(佐沼地区子ども会育成協議会、迫公民館主催)が11月25日、佐沼小学校体育館で開かれました。なわとび大会は「通り抜けとび」「三人仲良く」「親子50回とび」など、親子競技を含めた5種目で競いました。体育館の中は肌寒さを感じましたが、親子の絆を深めながら寒さを吹き飛ばすぐらい元気にジャンプ。参加した親子全員が終始笑顔で楽しい時間を過ごしていました。

石越



いしこしの秋をまるごと満喫

「まるごといしこしまつり」(同実行委員会主催、工藤貞夫実行委員長)は10月27、28の両日、石越総合運動公園、石越公民館、石越体育センターを会場に開かれ、約2千人の来場者でにぎわいました。まつりのメインとなる28日には、ステージイベント、秋の展示会、JAまつり、商工まつり、スポーツのつどいなど、盛りだくさんのイベントを実施。お楽しみ抽選会も開催され、来場者は石越の秋を満喫しました。

自ら収穫した秋の味覚に舌鼓

子ども農園事業「大収穫祭」(東郷地区コミュニティ推進協議会主催、高橋良治会長)は11月17日、東郷公民館で開かれ、東郷地区の子どもと父兄が収穫を楽しみました。子ども農園事業は、農業体験を通じて食の大切さと作ることの楽しさや喜びを知ることが目的。サツマイモ掘り、稲刈りや餅つきを体験しました。昼食会では収穫した取れたてのサツマイモやつきたての餅を味わい、春に植えたポッブコーンをいって加工し、持ち帰りました。



南方

東和



ちょっと早めのクリスマス会

「米谷公民館クリスマス会」は11月30日、米谷公民館で開かれ、米谷地区の児童、保護者や東和ジュニアリーダーら約60人が参加しました。クリスマスイルミネーションの点灯式では、明かりがともされると参加者から拍手と歓声が上がりました。夕食後は、室内ホールでジュニアリーダーと子どもたちのレクリエーション大会を実施。子どもたちはゲームとダンスを汗だくになって楽しんでいました。

津山



甘くおいしい干し柿になあれ

柳津小学校放課後子ども教室「干し柿づくり」は11月7日、柳津小学校(太田文子校長、児童80人)で開かれ、児童25人が参加しました。地域の干し柿づくり名人3人を講師に迎え、参加児童の保護者協力のもと、干し柿づくりに挑戦しました。学年ごとのグループに分かれ、皮むき器や包丁を使って皮をむき、紐に結び付ける作業を体験。参加した児童は深まりゆく秋を感じながら、干し柿ができるのを心待ちにしていました。

身近な地域の宝を発見しよう

「宝ミュージアム」(宝江小学校主催、遠藤麻由美校長)は11月16日、宝江小学校体育館で開かれ、地域住民約30人が来場しました。宝ミュージアムは、感動や喜びの経験などの目に見えない地域の「宝物」を、6年生21人が地域の人たちに取材。子どもたちは会場を訪れた人たちと交流しながら、取材を通して自分たちが住む地域の身近な物の由来や人の背景について学び、一つ一つの宝物に込められた思いを発表しました。



中田

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

登米



訓練で技術磨き火災に備える

「登米市消防団登米支団訓練」(消防団登米支団主催)は11月11日、登米総合運動公園で開かれ、消防団員32人が訓練に励みました。訓練では、遠距離による送水が必要な林野火災を想定した中継訓練を実施。サイレンの合図とともに、8台の消防車両からホースを中継し放水しました。消防団員は、訓練を通して連携の強化と技術を磨き、消火活動への意識を新たにしました。